

アジア政経学会 2014年度第5回理事会 議事録

1.日時 2014年10月18日(日) 12:30~14:00

2.会場 防衛大学校人文館1階J103号室

3.理事・監事総数 26名(理事24名、監事2名)

4.参加者 20名(理事18名:伊藤、大橋、梶谷、金子、川島、巖、小島、清水、高橋、竹中、田村、永井、中溝、松田、丸川、三重野、山本、渡邊、監事2名:佐藤、滝口)

欠席:磯崎、加茂、澤田、園田、高原、平岩、山田

5.議長 竹中理事長

6.議事

(ア) 12時36分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の欠席者が7名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、川島、小嶋の両理事、滝口、佐藤の両監事を指名し、いずれもこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2014年9月14日)の理事会議事録の確認をおこなった。

◆議案1 2014年度東日本大会開催校挨拶

東日本大会開催校である防衛大学校の国分良成会員(防衛大学校長)・武田康裕会員より、文系の学会開催は防衛大学校としては初めてで、名誉なことであり、会員は学内を見学し、学生と交流し、景色を楽しんで欲しいとの挨拶があった。

◆議案2 理事の選出方法について

法人移行担当金子理事から、配付資料および回収資料に基づき、次期理事の選出方法についての提案があった。本件については7月の理事会ですでに検討していたが、選出人資格を前年度までの会費を納入している全会員とするとの点が前回の会員投票と異なるので、確認して欲しい旨特に説明があった。また、被選挙人資格については、会員歴10年以上とするかつての方針を踏襲するか、

より若い役員を幅広く集められるようにするために、会員歴 7 年以上にするかを議論したい旨の説明があり、審議の結果会員歴 7 年以上の会員に被選挙人資格を拡大する新方針が承認された。

また、投票期間については、前は 3 月いっぱいとしたが、全国大会・総会・評議員会の日程との関係で、投票日程は 2 月に前倒ししたい旨提案され、承認された。

また、竹中理事長より、新定款では評議員・評議員選定委員は任期 4 年と定められているが、理事・監事の任期は 2 年と規定されていること、したがって次回の会員投票によって次期の理事・監事のみを選出する点について、ニューズレターにもすでに掲載し会員に周知したが、さらに学会ホームページおよびメールで周知したいと説明された。また、今回の会員投票の方法は今回の投票だけに適用するのか、2017 年度の評議員選出時にも適用するのかとの質問が出され、竹中理事長から今回の方法は一応 2015 年の会員投票に限るものとし、試行した効果を見てその後の方法については必要に応じて検討していきたい旨の回答があった。

今回の提案は基本的に承認され、12 月理事会で今回の議論を踏まえて、選出人と被選出人の確定を含め最終案を確定することが承認された。

◆議案 3 2014 年度西日本大会について

三重野理事より、配付資料に基づき西日本大会の準備進捗状況についての報告があった。企画の面では、司会・討論者に未定の部分があるが、検討を続けること、自由論題 4 件、自由応募分科会 2 件、共通論題「現代アジアにおけるグローバル化と排他的ナショナリズム」や開催校企画分科会も成立したことなどが報告された。

中溝理事より、非会員の参加申し入れがあり、聴講を認めるか否かについての審議の依頼があり、竹中理事長からは、通常本学会の大会は一般公開であり、情報はホームページにも入っていることから、学生や一般の人にも開きたい旨の回答があった。

◆ 議題 4 『アジア研究』の刊行計画について

丸川理事より、アジア研究は 60 巻 1 号が間もなく発送されること、2 号は保健医療人材のアジア域内移動を特集テーマに、間もなく入稿となることが報告

された。また、3号は東日本大会の企画と、中ソ関係史を特集として発行することが決定しており、1月末頃に入稿の予定である旨報告があった。

◆ 議題5 J-STAGE について

丸川理事より、J-STAGEは9月30日に引越し作業を完了し、従来アジア政経学会ホームページに掲載されていなかった号も含めて『アジア研究』全巻が掲載済みとなった旨報告があった。また、誤ってパスワードがかかり閲覧不能となっていた論文があったので、そのようなミスは指摘があれば対処する旨申し出があった。

竹中理事長より、丸川研究室のシャドウワークにあたる部分で大きな負担をかけたことへの謝意が伝えられた。

◆ 議案6 ニュースレターの編集状況について

清水理事より、ニュースレター42号がすでに印刷に送られており、アジア研究と同梱で近日発送される旨報告があった。

◆ 議案7 ホームページの更新について

梶谷理事より、一時期告知板が外部からのスパム攻撃に遭ったので書き込みを止めていたが、セキュリティを強化して再開し、今は問題ないこと、またこの件についてはホームページ・メンテナンス契約相手方の紀伊國屋書店側が無料で対処したことの報告があった。

◆ 議案8 定例研究会について

巖理事より、12月の理事会に合わせて定例研究会の報告者2名を募集し、応募があれば開催する予定であり、会場が決まり次第報告する旨の報告があった。

◆ 議案9 国際交流

園田理事欠席のため、代理で川島理事より、12月の台湾でのセッションのプログラム概要が固まった旨報告があった。竹中理事長より、本件は竹中理事長と園田理事、山本理事、加茂理事が渡台する旨報告があった。

また、竹中理事長より、ベルリン日独センターで行われたドイツアジア学会主催「国民国家を再検討する」国際シンポジウムに参加したことについて報告

があった。それに関して、アジア政経学会は資金的な負担をしていないが、ドイツアジア学会側はアジア政経学会を共催団体として広報していたため、事後的ではあるが共催について承認をお願いしたい旨依頼があり、承認された。

◆ 議案 10 入・退会者について

回覧資料に基づき、入会 2 名、復会なし、再入会なし、休会なし、大会 2 名、逝去 1 名、会費優待申請なし、との提案がなされ、承認された。

◆ その他

竹中理事長より、会員投票方法の改訂に伴い、会員全員が選出人資格を得る可能性があるため、会員投票関係の文書を配送するための郵送費が従前より数万円ほど増えることについての承認の依頼があり、審議の上承認された。

武田会員より、東日本大会の共通論題を録音しているので、『アジア研究』の特集に活用して欲しい旨申し出があり、承認された。

以 上

竹中理事長が午後 1 時 26 分、閉会を宣言して審議を終了した。